

## 第2回「とんぼの未来・北の里づくり」事例研究会次第

令和7年3月13日(木) 14:00～

札幌駅前ビジネススペース カンファレンスルーム2-I  
札幌市中央区北5条西6丁目1-23 第2北海道通信ビル2階

### 1. 報告事項

- (1) 令和6年度「とんぼの未来・北の里づくり」事例発表会の  
アンケート結果について・・・ 【資料1】

### 2. 議 題

- (1) 令和6年度活動報告及び令和7年度事例研究会  
行動計画(案)について・・・ 【資料2】

- (2) 事務委託マッチングに向けた取組みについて・・・ 【資料3】

- (3) 今後に向けた本研究会での検討内容について・・・ 【資料4】

### 3. 閉会挨拶

「とんぼの未来・北の里づくり」  
令和6年度第2回事例研究会参加者名簿

No	局名	市町村名	区分	地帯	組織名	役職	氏名
1	空知	岩見沢市	組織	田	岩見沢市広域協定	代表	干場 法美
2	上川	旭川市	団体	田	旭川土地改良区 建設課	課長	鈴木 将浩
3	オホーツク	大空町	組織	畑	大空町広域協定運営委員会	会長	今多 信悟
4	後志	真狩村	組織	畑	まっかりニコニコクラブ広域協定	会長	向井 芳和
5	空知	岩見沢市	行政	田	岩見沢市農政部農業基盤整備課基盤整備係	主事	庄司 雅哉
6	根室	別海町	行政	草	別海町産業振興部農政課	主事	友貞 公宏

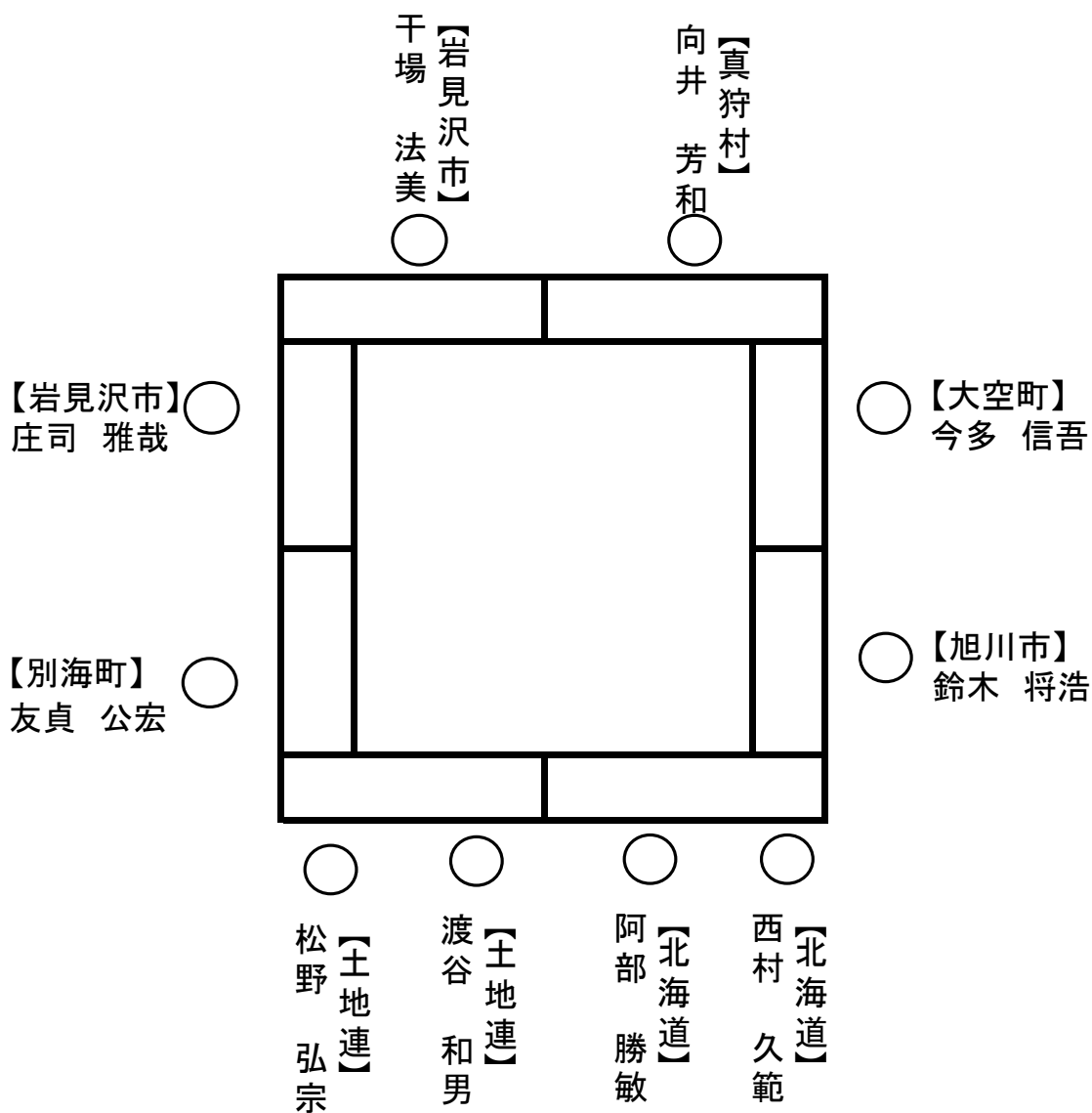
※欠席者：吉田主事(岩見沢市)、永山課長補佐(比布町)、佐藤事務局長(留萌市)、藤川会長(音更町)

1	随行	別海町	行政		別海町産業振興部農政課	主査	金澤 亮太
2			道協議会		北海道農政部農村振興局農村設計課	活性化担当課長	小笠原 聡彦
3			道協議会		北海道農政部農村振興局農村設計課	多面的機能支払係長	阿部 勝敏
4			道協議会		北海道農政部農村振興局農村設計課	主査	西村 久範
5			道協議会		北海道農政部農村振興局農村設計課	主事	松本 志穂
6			道協議会		水土里ネット北海道技術部地域支援課	課長	八百川 朋世
7			道協議会		水土里ネット北海道技術部地域支援課	指導役	金津谷 博一
8			道協議会		水土里ネット北海道技術部地域支援課	指導役	寒河江 茂芳
9			道協議会		水土里ネット北海道技術部地域支援課	指導専門員	千葉 正志
10			道協議会		水土里ネット北海道技術部地域支援課	副主幹	渡谷 和男
11			道協議会		水土里ネット北海道技術部地域支援課	主査	松野 弘宗
12			道協議会		水土里ネット北海道技術部地域支援課	技師	板谷 勇希

# とんぼの未来・北の里づくり 第2回事例研究会 配席図

令和7年3月13日(木)14:00～

札幌駅前ビジネススペース カンファレンスルーム  
2-I



--	--	--

--	--	--

## 「とんぼの未来・北の里づくり」事例研究会 設置要領

平成 29 年 12 月 14 日制定

令和元年 11 月 26 日改正

令和 6 年 9 月 5 日改正

### 1. 趣旨

北海道における農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、多面的機能支払事業における効果的な活動事例などの情報収集を行い、各々の地域の状況に応じた更なる活動の充実・発展を図るために、事例内容について検討を行い、発信等を行うことを目的として、この会を設置する。

### 2. 構成

本会は、活動組織構成員、市町村職員及び北海道日本型直接支払推進協議会事務局により構成する。

- (1) 活動組織構成員は、水田地域 4 名、畑地域 4 名、草地域 3 名の次世代にわたる農業者等の 11 名程度とする。
- (2) 市町村職員は、水田地域、畑地域、草地域の本事業を担当する者から各々 2 名の 6 名程度とする。
- (3) 北海道日本型直接支払推進協議会事務局は、北海道及び北海道土地改良事業団体連合会職員が参加する。
- (4) その他、必要に応じて指導助言・意見聴取のため、第三者を招集することを可能とする。

### 3. 活動内容

本会では、次の活動を行うものとする。

- (1) 本事業における効果的な活動事例や要望の多い活動事例などの情報収集
- (2) 事例内容についての検討及び必要に応じた調査
- (3) 活動組織及び市町村等へ活動事例や検討結果等の情報発信
- (4) 北海道地域活動指針に追加すべき活動項目の抽出・調査・検討
- (5) その他多面的機能支払事業の効果的な取組に必要な事業等

### 4. 主管

北海道日本型直接支払推進協議会

### 5. 庶務

北海道日本型直接支払推進協議会事務局

(北海道土地改良事業団体連合会技術部地域支援課)

### 6. その他

この要領に定めるもののほか、本会の設置、運営等に関し必要な事項は別に定める。

# 「とんぼの未来・北の里づくり」事例研究会

R6.5時点

会員No	局名	市町村名	区分	地帯	組織名	役職	氏名	入会年度
1	空知	岩見沢市	組織	田	岩見沢市広域協定	代表	干場 法美	R1
2	空知	岩見沢市	団体	田	北海道改良区 総務課	主事	吉田 圭汰	R6
3	上川	比布町	団体	田	大雪土地改良区 工務課	課長補佐	永山 大嗣	R4
4	上川	旭川市	団体	田	旭川土地改良区 建設課	課長	鈴木 将浩	R1
5	留萌	留萌市	組織	田	NPO法人るもい農業応援隊	事務局長	佐藤 武志	R1
6	十勝	音更町	組織	畑	東士幌環境保全会	会長	藤川 征二	R4
7	オホーツク	大空町	組織	畑	大空町広域協定運営委員会	会長	今多 信悟	R4
8	後志	真狩村	組織	畑	まっかりニコニコクラブ広域協定	会長	向井 芳和	R1
9	空知	岩見沢市	行政	田	岩見沢市農政部農業基盤整備課基盤整備係	主事	庄司 雅哉	R6
10	根室	別海町	行政	草	別海町産業振興部農政課	主事	友貞 公宏	R3



令和6年度

第2回「とんぼの未来・北の里づくり」事例研究会資料



「とんぼの未来・北の里づくり」事例研究会

令和6年度「とんぼの未来・北の里づくり」  
事例発表会のアンケート結果について



1 今回の事例発表会について

本日の事例発表会の中で参考になった発表等を以下の中から選択。  
また、具体的に参考になったことを記入。（複数回答可）

Web 87  
紙 184  
アンケート回収数： 271

選択肢	回答結果
1. 多面的機能支払の現状と今後の展開方向	191
2. 気候変動下における洪水対策と農村環境の保全	130
3. 現地視察研修の報告について	123
<p>【参考になったこと】</p> <p><b>1. 多面的機能支払の現状と今後の展開方向</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ みどりチェックについて</li> <li>・ 多面に環直の一部が加わり、より複雑な事務となった印象です。畑地化となった「田」は多面の「田」でよいのか、会検で話があったのかが分かれば知りたかった。</li> <li>・ 人口減少、環境負荷</li> <li>・ 会計検査対応・指導事項</li> <li>・ 新制度の内容について理解できた</li> <li>・ 制度変更の説明が農水省より行われる機会はなかなかない為参考となった。</li> <li>・ 事業が19年経過してきたことから構成員の世代交代が進み活動の進め方が良く理解出来ない部分が多い事から改めて多面的機能の進め方の研修をして円滑な事業の推進を図って行きたい。</li> <li>・ R7予算における制度拡充の概要。</li> <li>・ 会計検査についてもう少し深い話や多くの事例が聞けるとよかった。</li> <li>・ 交付金の次期対策、クロスコンプライアンス</li> <li>・ R7における多面的機能でどのように対応していけばいいのか確認する事ができた。検査においてどのように資料をまとめればいいのか確認する事ができた など</li> </ul> <p><b>2. 気候変動下における洪水対策と農村環境の保全</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最近の気候の変化は作物の育成にも大きくかかわる事なので、興味的だった。治水の対策なんかもためになった</li> <li>・ 気候変動の大変さ、環境変化について</li> <li>・ 自然の貯水機能（田んぼダム等）を最大に生かすことによって洪水等の水害をやわらげる1片になりえる。</li> <li>・ 流域治水に関する事、今後の洪水対策を考えると良い機会になった。</li> <li>・ 気候変動の環境への影響危機感</li> <li>・ 自然を守る事が社会を守る事につながるのが改めて思い知らされました。（宮崎駿のナウシカやラピュタの様）</li> <li>・ 遊水池の大切さ</li> <li>・ 主にタンチョウを参考にして天然動物とか環境資源の保全について考えさせられた</li> <li>・ 多面的機能の発揮</li> <li>・ グリーンインフラを使った生態系ネットワーク</li> <li>・ ほ場の中干や、化学肥料の5割低減など既に行っている団体に対しての支援も考えて欲しい。さらに行う事での農作物の量、質など長期的なデータを提示して欲しい</li> <li>・ 長期における異常気象等のリスクや気候変動の適応策、緩和策</li> <li>・ 防災とグリーンインフラの融合について</li> <li>・ 治水の取組はみどりの環境づくり、更には生物の保護育成につながることを知った。</li> <li>・ 農家さんから56災害の話がされたことがあったので（話を聞いてもわからなかった）話を聞いて良かったです。 など</li> </ul>	

### 3. 現地視察研修の報告について

- ・ 事務担当者の育成は必要だと思った。
- ・ 活動組織体制強化・永続化には外部団体等とのマッチングが大切になる。
- ・ 事務担当するにあたっての留意事項。道外の活動組織の活動
- ・ ラジコン草刈り機の導入
- ・ マッチング
- ・ 他の地区の資源保全会がどのような活動をしているかを知る機会が少ない為、参考になる事が多かった
- ・ 今後想定される事務委託の事例発表 など

## 2 事例発表会のテーマについて

今後、事例発表会で取り上げて欲しいテーマを、以下の中から選択。（複数回答可）

選択肢	回答結果
1. 多様な参画・連携の促進	108
2. 活動組織の広域化	77
3. 女性の活躍	29
4. 広報の強化	16
5. 作業の安全管理対策	57
6. 地域住民による直営施工	38
7. 遊休農地の有効活用	75
8. 防災・減災力の強化	66
9. 民間団体（企業）との連携	64
10. 学校教育との連携	48
11. 地域活動協力隊（活動支援班）の取組	44
12. その他（具体的な内容） <ul style="list-style-type: none"><li>・ 北海道内の活動組織の紹介</li><li>・ 道内畑作地帯</li><li>・ 今後地域組織から土改事業となったなどあればその具体的調整の流れなど知りたい</li><li>・ 人材確保について</li><li>・ 機械の安全使用について、機能診断と補修について</li><li>・ 直営施工について聞きたい</li><li>・ 農業の本来の姿や農産物の本来の価格（再生産のできる収入）を品目ごとに消費者に伝えていくことが大切ではないか。農家の労働環境など正確に伝えて行くべきである。</li><li>・ SDG'Sが無駄であるアンチテーゼの講演。メニュー、事務作業の複雑化、煩雑化は国の悪意を感じる。山形、福島行かなきゃ分からなかったことなんだ。12名の視察団経費はいくら？ネタ作りの旅。毎年札幌研修やらなきゃならないの？研修は5年に1回じゃなかったっけ？</li><li>・ 非常に参考になりました。</li><li>・ 現地視察の事務委託などの業者を探すことなど</li><li>・ 研修報告</li><li>・ 環境保全会の担い手確保や、事務委託について</li><li>・ Jクレジット（認証されたクレジットを販売することで収益が得られ）話が理解できた</li><li>・ 実際、現地視察によって感じられるものを聞いたため</li><li>・ 抽出検査の結果事例 など</li></ul>	

### 3 事例発表会の開催方法について

事例発表会の開催方法を選択。  
また、開催地に関して意見があれば記入。

選択肢	回答結果
1. 札幌開催のみ	47
2. 札幌開催とWeb(YouTube)開催の併用	207
3. Web開催のみ	9
4. その他	9
<p>【開催地について】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加者・希望する（都市）を選べるように札幌他、大まかな各市で開催されてはどうか（録画したものをプロジェクター等で講演、講演者2名位に流す）。札幌では地方者は時間が取られるため</li> <li>道内主要都市</li> <li>札幌、旭川、帯広、釧路</li> <li>地方活性化のためにも札幌以外でも良いと思います</li> <li>旭川、帯広、北見などの開催</li> <li>Webでできる時代なので集まる必要もないように思います。</li> <li>札幌市のみで開催だと遠方の方が大変なのでWebは有効だと思う。</li> <li>札幌以外で対面での講演を増やして欲しい。北見、帯広とか</li> <li>開催地は札幌が利便性がよいと思う。</li> <li>冬期が多い為雪害など近年想像を超える被害を受けてライフラインが止まる。</li> <li>札幌開催にこだわらない、人数制限すれば温泉地でも可能</li> <li>道内主要地により持ち回りの開催</li> <li>道外</li> <li>Web開催</li> <li>ウェブへのアクセスが困難な人が少なくなりつつある現状、「Web開催のみ（ライブ）」を基本として必要に応じアーカイブ動画の視聴をもって不足を補う方が環境負荷は少ないかもしれません。また同時に地方から地方都市へ足を運ぶ中で人的交流等さまざまな豊かさもあると思います。など</li> </ul>	

### 4 事務委託先とのマッチングについて

あなたの組織で、事務委託先を探す場合、どのような紹介方法を希望しますか。

選択肢	回答結果
1. 道協議会がホームページに受託可能者リストを公開し、活動組織が直接連絡	89
2. 道協議会がホームページに受託可能者リストを公開し、連絡は道協議会を経由	75
3. 道協議会が受託可能者をピックアップして活動組織へ仲介	66
<p>4. その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>あまり意味がないと思う</li> <li>活動組織が直接連絡</li> <li>可能な人をお願い</li> <li>改良区一択となっているためマッチングなし</li> <li>必要無し</li> <li>行政機関のため</li> <li>農協に委託済み</li> <li>現状（土地改良区事務）</li> <li>当地は適正に進められています</li> <li>活動組織内でできるように事務の簡素化に努めて欲しい</li> <li>事務局を持っている</li> <li>市町村の連絡協議会からの紹介</li> <li>探す気がない</li> <li>市役所、JA退職者 など</li> </ul>	

## 5 今後のアンケートの実施方法について

今回、紙のアンケートとスマホに対応したWebアンケートを併用していますが今後のアンケートはどちらが良いと思いますか。

選択肢	回答結果
1. 紙のアンケート	15
2. Webアンケート	59
3. 紙とWebの併用	174

## 6 質問・感想

事例発表会全体をとおして質問等を記入

### 【質問】

- 事務作業の統一化が言われていますが、多面的、環境保全、中山間の申請書類等はいつからどの様な形で一本化されるのですか。  
○新しい申請書類のエクセル版はいつ頂けますか。
- 本町の中山間の集落からはラジコン草刈機は急傾斜の法面で使用できないことから使えないと言われました。山形県、福島県の法面は急ではないのでしょうか？45度以内？スピードはトラクターにモアをつけて草刈りした方が早いのではないかと？

### 【意見】

- 春作業が始まるため、出来れば2月上旬に開催していただきたい。
- 今回、東北の方でしたが他県の方もお願いしたい。
- 参加者が関心を持てる講演でなければ、雑談する人、途中で退席する方が多いように感じられます。講演内容、上手な方、むずかしい事かもしれませんが工夫が必要かと思われます。事業予算の消化での発表会であるなら発表会の予算縮小考えて他に回す（地域に何か役立つ事業）とか考えてはどうでしょうか。札幌ではなく、各都市に切替えて開催願いたいです。（時間と高齢者には負担では？）
- アンケートを後日PCで回答してほしい
- 当組織は町一組織で活動しているため、「広域化」というものを拡大させることが不可能です。隣町との広域化も良い方法かと思うが本区が受託しているため、受益外となり手を付けられない。もう少し、多面と区の関係性を柔軟に考えてもらえれば、できると思うので参考にして下さい。
- 北海道（特に水田以外）の組織の活動内容
- 事務委託について、組織の予算規模と事務委託費の参考、例えば交付金5千万円で5百万円の委託
- 共同取組のスマート農業の活用事例など、この先の発表会でしていただけたら参考にしたいと思えます。
- 多面的の第3期対策の概要について触れられていたが、活動計画や実施状況報告等のフォーマットは変わっていくのかわからなかった。エクセル版を使用して活動計画申請等を行う際、道様式のデータの場所が分かりにくかったので、フォーマットに変更がある際は周知をしっかりと行って欲しい。
- 以前は活動単価、道協議会から1時間当たり1000円以下と決められておりました。今後1000円以下では作業に動力していただける人がいなくなると思う。
- 畑地化が増え交付金が減る活動組織も多いことかと思えます。今一度単価の見直しをお願いしたいと思えます。地域によると思いますが、排水路や農道など畑地となっても管理する施設はなくなる訳ではないのでどうか検討いただきたい。
- 事例発表会ではとても参考になりました。講演、基調講演は内容が難しく感じました。もう少し優しくてもよいのではないのでしょうか。
- みどり加算について  
慣行より5割減（肥料）がどれだけ収量減になるかわかっているのか？農業の自給率UPが各方面で叫ばれているなか。”反当800円加算の為”が本末転倒であるのか、メタン発生が地球温暖化の原因（一因）ではあるが（主たる原因はほかにいくらかもあるだろうが）人類の食源を自ら破壊する政策には賛同できない。食糧自給を放棄する愚策だ。  
農業の現実とどんどんかけ離れてゆく多面機能支払い、単価加算は単なる切り捨てである会社の不正はいけませんが、そもそもこの政策の歪みが出ている証なのでは・・・  
温暖化による洪水対策は、はっきりいってインフラ整備につきます。ここで講演するより国交省でやって。
- 各公演をもう少し短くして欲しい。
- 交通の便が良い会場を使ってほしい。長時間の時は休憩を挟んだ方が良いのでは近年農作業時期が早まって来ています。総会のあり方や時期、会計の報告の内容見直しを考えていただきたい。
- 交付金はH26年からほぼ横ばい。賃金・資材は上がっている。交付金の増とともに、交付単価のUPを望む。

- 17 多面的機能支払制度が防災・減災や環境問題等農業の枠を超えてきている。市町村職員や保全会事務局のスキルにも限界があり事務負担減と逆行している様に感じます。よって市町村職員や保全会事務局へのサポートも必要だと思います。（人的サポートやスキルアップ等）
- 18 ○加算活動がもっと取りやすい活動を設定してほしい。  
○みどり加算をもっと詳しく教えてほしい。（長期中干し）について。  
○施設管理者との協議記録簿（覚書）の雛型がほしい。
- 19 地区協議会に出向いて活動の進め方事務の処理等の研修会を企画してほしい。
- 20 みどり加算、畑への補助はないのか

【感想】

- 1 自然環境問題の事例対策は参考になります。
- 2 今後もお願いします。
- 3 異常気象&環境問題など大変参考になりました。
- 4 今年の研修は実ある内容で真剣に聞き入れました。
- 5 グリーンインフラ非常に素晴らしい考えかたと思います
- 6 全道の遊水池にタンチョウが住む理想郷であると思います。
- 7 事務局についていい事例があり良かったと思います
- 8 中村教授の洪水対策と農村環境の保全是参考になりました。インフラの維持管理する財源確保  
グリーンインフラの取組の必要性
- 9 この水資源講演は、初めて参加したのですがタンチョウ等の野生生物や農村地域の保全について知らなかった事が多く、もっと学んでみたいと思いました。
- 10 勉強になった
- 11 事例発表をしていただいた組織の皆さま事務局の皆さまにお礼を申し上げたいと思います。
- 12 教授の講演はよくわからなかった。多面との結びつきがいまいち。
- 13 事務作業に関して参考になりました
- 14 今回の基調講演は時節柄良かった
- 15 今回は正直内容が食いつきづらかった。作業等で使えそうな資材、新商品等があれば面白いかなと思う
- 16 充実した内容の研修だったと思います。
- 17 多くの人の労力と時間、お金を使って開催している事例発表会はYouTube配信により、そのコンテンツの射程が関係者以外にも広がるのではいかと思われるので、是非、訴求力のあるかたちでアーカイブ化してもらえたらうれしいです。

令和 6 年度活動報告及び令和 7 年度事例研究会  
行動計画(案)について

# 令和6年度活動報告

行動計画		活動実施
1	R6.4 会員の推薦依頼および委嘱手続き	・新研究会の参画等 (庄司主事、吉田主事)
2	R6.9.5 第1回事例研究会開催	R6.9.5 第1回事例研究会開催 場所：(札幌市)北農健保会館3階 芭蕉 会員8名 事務局4名参加(欠席：藤川会長、今多会長) オブザーバー10名参加(随行員含む)
3	R6.1.1.2.5~27 現地視察研修	R6.1.1.2.5~27 現地視察研修開催 視察者：12名(干場代表、鈴木課長、藤川会長、今多会長、向井会長、庄司主事、吉田主事、友貞主事、阿部係長、西村主査、渡谷副主幹、松野主査) 視察先：(山形県)事務受委託登録制度及び事務担当者育成研修の取組 (福島県)事務委託マッチングサイト及び市町村担当者研修の取組
4	R7.1~2	視察研修成果取りまとめ：庄司主事、吉田主事
5	R7.2.20 全道事例発表会	R7.2.20 グランドメルキュール札幌大通公園「ボールルーム」 出席者1,152名、web視聴283名、会員10名 事務局3名参加 視察研修報告：事例研究会及び現地視察研修の概要について 発表者：干場代表、友貞主事
6	R7.3.13 第2回事例研究会開催	R7.3.13 第2回事例研究会開催 場所：(札幌市)札幌駅前ビジネススペース カンファレンスルーム2-I 会員6名 事務局4名参加(欠席：藤川会長、佐藤事務局長、吉田主事、永山課長補佐) オブザーバー8名参加(随行員含む)

## 令和7年度 事例研究会行動計画（案）

1	R7.4	会員の推薦依頼及び 委嘱手続き	・新規会員の参画等
2	R7.8	第1回事例研究会の 開催	・事務委託マッチングの進捗について ・現地視察研修計画の策定
3	R7.12	現地視察研修	・2泊3日行程を想定 全道事例発表会での発表を見越した開催を想定
4	R8.2	全道事例発表会	・活動事例の発表、現地視察研修の発表 ・機能診断・補修技術研修に関する講演
5	R8.3	第2回事例研究会の 開催	・R7年度の本研究会の活動成果報告 ・R7年度の行動計画案の策定
6		草地带分科会の開催	・適宜実施
7	未定	女性参画の推進に資 する意見交換会等の 開催	・時期や開催方法等は今後検討する

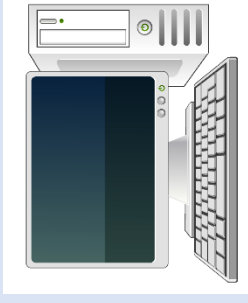
道外から視察研修の申し出があった場合は、本研究会の会員も都合がつく範囲で出席する。全国事例研究会等の開催に際し、発表者やパネリストの推薦依頼があった場合は、本会員からの推薦も検討する。



## 事務委託マッチングに向けた取組みについて

# 事務委託マッチングサイトの構築(草案)

- ②情報の登録(受託可能者→道協議会)  
 ○名称、住所、受託可能地域、受託可能業務、受託実績等



- ①マッチングサイトのPR(道協議会→受託可能者)  
 ○多面的機能支払交付金制度の説明

- ③サイト閲覧(活動組織→道協議会)  
 ○受託可能者のリストを会員限定サイトにて確認

- ④フォローアップ(道協議会→活動組織)  
 ○活動組織と受託可能者の打合せ参加

## 受託可能者となり得る団体



- 行政書士
- 協会関係(道庁OB等)
- 受託実績のある団体など

## 事務を委託したい活動組織



受託可能者の募集  
 例) 北海道行政書士会が開催している研修会の一コマで講師として制度の説明  
 受託実績のある団体を活動組織(関係市町村)から紹介

## ⑤打合せ

- 委託する業務内容や委託料を協議し、合意が図られたら契約

## 事務委託マッチングサイト 道協議会

### ◎スケジュール

- ▼受託可能な作業項目の用語の定義を明確化(4月)
- ▼受託可能者となり得る団体への制度説明(5月～6月)
- ▼事務経理担当者等会議でマッチングサイトの方針等のPR(7月中旬～8月下旬)

今後に向けた本研究会での検討内容について

## 今後に向けた本研究会での検討内容について

<p>岩見沢市広域協定 代表 干場 法美</p>	<p><b>1. 交付金の有効活用</b></p> <p>○先ずは多面の活動事例を参照してそれぞれの活動組織が選択するのが基本かと思われます。7年からは日本農業新聞に載った記事内容を確認・検証して、道協議会・事例研究会・活動組織が連携して地域の課題を皆で絞り込んで具体策を探るしかないと思います。</p> <p>○岩見沢市広域協定は3月12日に一般社団法人化して多面的機能支払の共通経費で「とんぼ資源保全マップ」も活用しながら環境保全型農業に関するアプリのシステム開発を進めてようと計画中です。多面の活動（施設維持管理や保全活動等）に参加できるざわサボからの人材確保、マッチング等も出来て労務管理アプリ、農水省のHPでの求人サイトも含めて7年から農業者は減少する今後に向けて担い手の確保や新規就農にも活用できるようなシステム作りを進めています。また、今後、中山間地域等直接支払交付金の申請交付も多面の広域協定と連携すると予想されるのでシステム追加のためにも事務作業集約・軽減を考えても不可欠と考えます。</p>	<p><b>2. その他の要望</b></p>
<p>北海土地改良区 総務課 主事 吉田 圭汰</p>	<p><b>1. 交付金の有効活用</b></p> <p>○持越金が余らないように草刈りや花の植栽、清掃活動を行い、身近なコミュニティ（婦人会や老人会等）にも活動に協力していただき日当を支払う</p>	<p><b>2. その他の要望</b></p> <p>○田んぼ以外の地域の組織では、どのような使い方をしているのか少し気になりました</p>

1. 交付金の有効活用

- 日当単価の見直しの実施
- 期間共同活動の推進
- 冬季活動項目の再周知

2. その他の要望

- 広域活動組織の規模要件等緩和  
集落が複数あることで事務負担が増え簡素化に繋がらない。1集落で運営委員制の活動組織が望ましい。
- 農用地の維持管理の簡素化  
福井県で作成中の雑草管理マニュアルを全国展開（地域に応じてカスタマイズ）願いたい。雑草剤の使用方法等
- 冬季活動項目の拡充  
ポンプ場建屋等の屋根の雪下ろし、冬季農用地の有効活用等（冬の田んぼアート）

1. 交付金の有効活用

○研究会の中で上記の方策等を議論するのであれば、まず持越金3割超過している組織がどの程度あって、どのくらいの規模（交付対象面積、予算規模、構成員数など）の組織でどのような地域（水田・畑・草地）に分布しているのか、これらを踏まえて地域別に予算規模等を勘案した上で、有効的な交付金の活用方法を議論していくのが良いのではないかと思料する。

「活動はできるが、事務処理できない人」や「そもそも地域に人がいないので活動自体が厳しい」など様々なパターンが想定される中で方策を議論しても、予算規模や地域によっては議論した方が必ずしも合致する訳ではないので、ある程度地域性や予算規模、組織の課題等をいくつかのパターンに分けてそれぞれに合わせた方策を議論し、地域に落とし込んでいくかどうかと考えるので、もう少し詳細な組織の内訳を提示していただきたい。

2. その他の要望

○担い手が不足している中で、ICT農業が国からも推進されており、先進地として岩見沢市や旭川市でも来年からICT実証事業が実施されていく予定であるが、実際に普及していった場合、営農や管理に係る人の作業費が軽減され、比例してICT機器の更新や管理費等が増加していく事が予想される。それに伴い現在の多面制度メニューと実際の営農活動が乖離していく事も想定されるのではないかと。近々の話ではないが農業情勢やICTの普及状況等を把握しながら将来を見据えて、多面のメニューに関して人手不足や営農の実態に即したメニューを追加していく事も視野に入れながら検討していくかどうかと考える。

○草地帯の単価について、以前からも草地帯の研究会である友貞氏より単価見直し等の要望があげられていくと承知しているが、北海道として強く要望していく必要があるのではないかと考える。確かに水田地帯と比べれば管理作業量等に差はあるのかもしれないが、単価に差があるのは仕方ないと思うが、物価高騰や外注費等も高騰している中で現状の単価では草地帯の活動はかなり制限されるのではないかと感じている。担い手が不足している昨今、今後も更に離農者が増えていく中で地域資源を保全していくには、農業者のみならず非農業者を巻き込み、多くの地域住民で地域を守っていく事が必須になってくるのではないかと。そう言った時に現行単価では思うような活動ができなくなるか。次年度以降草地分科会の定期的な開催も検討したい、草地帯の「生の声」を聞き、北海道として草地帯を守っていくために単価の増額を含めて検討していく必要があると考える。

1. 交付金の有効活用

2. その他の要望

○市町村またぎ圃場の対応について  
 大空町の現状  
 ・大空町民の網走、美幌地区にある圃場は、認定農用地・交付金の対象にはしていない。  
 ・網走市民、美幌町民の大空地区にある圃場についても認定農用地・交付金の対象とはしていない。  
 ※他の市町村ではこれらを認定農用地として対応している場合もある。使用者、所有者の同意を経て対応している。  
 大空町の要望  
 ・各市町民の使用、所有している圃場については、お住いの市町村に認定農用地として申請できるようにしてはどうか？  
 理由として  
 ・両市町村で対応しない場合、その圃場は現状何も対応できない状況になっていること。  
 ・税金に関しては主にお住いの市町村に納めていること。  
 ・他の事業でも同様なことが考えられる（中山間・環境保全型等）  
 ・近隣市町村との取組内容が異なることがあるので、同じ対応とはならないため。  
 ・今後他地域に圃場を確保することも考えられるため。

1. 交付金の有効活用

2. その他の要望

○活動計画を見ないと原因がわかりませんが、毎年の活動計画が計画通り進んでいないのか、又は、そもそも日当単価が低いのか、施設のメンテナンス作業の計画的な必要性を考えて見てはどうか。  
 ○私の組織を考えて見たところ、将来構成員の高齢化等を見据えて農地農道の草刈りをラジコン草刈り機の導入が必要になってくると考えています。

○当日報告

岩見沢市農政部農業基盤整備課基盤整備係 主事 庄司 雅哉	
<p><b>1. 交付金の有効活用</b></p> <p>○年度を跨ぐ長期間の工事を行う場合、事前に持越金3割を超える可能性がないか確認を行う。</p> <p>また、持越金が3割を超そうな状況となった際は、地元（農家や業者）及び北海道と協議しつつ、工事の優先順位を決め、来年度の交付金を充当する等の対応を検討する。</p>	<p><b>2. その他の要望</b></p> <p>○田んぼダム普及啓発のための取り組みについて（アプローチの対象や方法等）</p> <p>○市町村が活動組織に対して行う、対象農用地の面積及び地目の確認方法について（監査が入った際に、地目が畑だが田の単価をもらっていることが多く指摘されている）</p> <p>○広域化推進に向けた取り組みについて（課題を把握し、地域に応じたアプローチ方法）</p>
別海町産業振興部農政課 主事 友貞 公宏	
<p><b>1. 交付金の有効活用</b></p> <p>○交付金を効果的に使っている組織との情報共有ができる場の提供</p>	<p><b>2. その他の要望</b></p> <p>○草地区分科会の開催について</p> <p>○市町村担当者向けの研修会の開催について</p>